

## 学校の熱心な取組に 高い評価をいただきました！



学校支援課長 南 敦

新潟市教育ビジョンの前期実施計画が、平成19年度にスタートし、今年度で終了します。実施計画は、大学教授など外部委員で構成する推進委員会を設置し、進行状況を報告し、進行管理について助言を受けながら進めています。

前期実施計画には、評価のために全部で119の指標を設定しています。そのうち「学力偏差値の向上」「児童が1年間に読む本の冊数」といった先生方との協働があって達成できる指標が、全体の約40%もあります。

20年度の全体評価は（21年度の達成状況は現在集計中）、指標を上回って達成（評価4）が47%、指標どおり達成（評価3）が27%であり、全施策の平均評価は3.2という結果でした。特に「5つの学ぶ扉」に位置付けられていた「学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進」の平均評価は3.7「学習習慣の定着と読書活動の推進」の学校関係は平均評価は4.0と報告されています。推進委員から「各学校からは、18年度以降本当に一生懸命に取り組んでいただいた。先生方の取り組む姿は素晴らしいと感じてきた。これ以上、学校に頑張ってもらいたいと願う必要はないと思う。」といった発言を何度かいただきました。

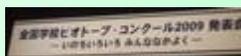
学校支援課としましても、教育ビジョンに対する先生方からのご理解、各事業に対する熱心なお取組、そして、確実に成果を上げていただきましたことに深く感謝しております。

新年度からスタートする後期実施計画もまもなく発表されます。基本目標に掲げた「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」の育成に向け、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 全国学校ビオトープ・コンクール2009

銀賞受賞

新潟市立沼垂幼稚園



平成22年2月13日（土）東京都渋谷区「津田ホール」において、秋篠宮同妃両殿下御臨席のもと、発表会が開催されました。沼垂幼稚園は、ビオトープを活用した教育活動に取り組んでいます。

「きらきら池」と呼んで親しまれているビオトープは、保護者や地域にも開放され、憩いの場ともなっています。メダカ、アメンボ、タニシ、ヤゴが生息するきらきら池を、保護者や職員が大切に維持管理しています。「きらきら池」の生き物を見たり、水草を取って遊びに取り入れたりする豊かな遊びや親子で一緒に「きらきら池」をのぞく触れ合いは、大きな教育効果となっています。そのような成果が、受賞理由となっているようです。



# 新年度に向けて最終チェック！

平成22年度は、新教育課程への移行措置2年目となり、各教科等によっては、昨年度と内容が異なるものがあります。各教科等で再度確認をして、追加される内容と削除される内容について十分確認を行ってください。

なお、小学校算数・理科、中学校数学・理科については、追加されたり削除されたりする内容が多く、変則的ですので特に注意が必要です。そこで、新年度準備に向け、確実にチェックしていただきたい点を特集しました。

## 小学校 算数・理科

算数の、新たに加えられる内容については、**22年度用補助教材**が配付されます。教科書に記載されていても削除する内容がありますので、再度、指導計画の確認が必要です。



理科の、3学年と4学年については、21年度と22年度で移行措置の内容は変わりませんが、5学年と6学年については、**22年度の内容が21年度と異なります**ので、確認が必要です。

参照：文部科学省ホームページ  
移行措置の概略(小学校算数・理科)  
(PDF: 279KB)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/007.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/007.pdf)

## 中学校 数学・理科

数学は、3学年の移行措置が22年度から始まります。1学年、2学年は、21年度と同様の移行措置内容となります。**22年度に入学する1学年は、小学校の6学年の移行措置で、「文字の式」を学習するなど、中学校における学習の素地的な指導がなされていることに留意する必要があります。**

理科は、1学年の変更内容は今年度と同様ですが、**2学年は平成22年度から内容の変更が行われます。**3学年は、21年度、22年度が同様の移行措置内容となり、**23年度に内容が変わります。**



参照：文部科学省ホームページ  
移行措置の概略(中学校数学・理科)  
(PDF: 230KB)  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/008.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/ikou/008.pdf)

3月に刊行！

各教科等指導資料<小学校編>～新教育課程編成・実施のために～  
各教科等指導資料<中学校編>～新教育課程編成・実施のために～  
平成20年度～21年度、各教科等の教育課程研究員の皆さんの協力のもと作成しました。新教育課程編成実施のためにご活用ください。

# 授業改善フォーラム2010

平成22年1月25日(月)、黒崎市民会館において3年目となる授業改善フォーラムが開催されました。参加して下さった皆さま及び授業に協力して下さった山田小学校、黒崎中学校の皆さんに、心から感謝申し上げます。



熱心に聞き入る参加者



諸橋指導主事の算数授業

具体的にどのような授業で改善していったらよいか示していただき、参考になりました。日ごろの授業で取り入れられるところをどんどん取り入れていきたいと思いました。(中学校教諭)

幼稚園としては、小学校・中学校の児童生徒の育ちと学ぶ姿を見ることができ、とても良かったです。幼・小・中の発達と学びの連続性の勉強となりました。(幼稚園長)



真田指導主事の国語授業

校内の先生方に紹介しました。指導案を見て、5年生の担任はこの流れでやってみたかったと言っていました。また、5年生を担当したときにやってみたいという意見が出ました。(小学校教諭)

小学校算数の「割合」指導は、中学校でも色々な単元の基になるので、指導案や実際の授業の様子を聞いて、小学校から連続した指導をしていきたいと思いました。(中学校教諭)

校内で伝達を終えた学校から、たくさんの感想が寄せられました。その1部を紹介します。

## 国立教育政策研究所調査官による講演会



算数・数学部会 銀島 文先生

子どもたちにどのような力を育てなければならないのか、その具体例を調査問題で示したいという思いと、調査問題を通して、これから、どのような点に配慮して指導を行えばよいのか、その具体例やヒントを示したいという思いで作成しています。

例えば、記述式の設問の正答率が低い場合、言語活動の充実を図ることが重要です。実際の授業では、活発に話すことができるが、書くことができない状態も見られます。書くことの充実も図ってほしいと思います。

どの領域でも指導事項を明確にして言語活動を組んでほしいと思います。(指導事項一覧表に基づいて)学年の違いを明らかにして、授業を考えることが大切です。小中連携を視野に入れ、系統性を大切にして指導してほしいと思います。調査問題から授業を構想し、国立教育政策研究所作成の授業アイデア例も是非活用していただきたいと思います。



国語部会 杉本 直美先生

「新潟市学力向上に関する調査報告書」にある問題番号と通過率を自校のデータと照らし合わせ、正答率の低い設問について授業でどう改善するか、是非学校で話し合い、すぐに実行していただけたらありがたいです。



# 特別支援教育のページ

## 特別支援教育の研修をサポート！！

特別支援教育サポートセンター、学校支援課、総合教育センターが連携し、特別支援教育に関する研修情報をホームページ上で積極的に発信する取組を始めました。

日々の指導、学級経営、校内委員会の運営、校内研修などのヒントとなる情報を、定期的に追加・更新します。市内学校・園での実践例、手作り教材・教具の写真・使用方法などの情報も、どんどん紹介していきたいと計画しています。

研修情報の掲載場所は、特別支援教育サポートセンターのホームページです。既に、その第1弾を掲載していますので、どうぞご覧ください。

新潟市ー特別支援教育サポートセンタートップページ

新潟市 > 教育 > 特別支援教育サポートセンター

### 新潟市特別支援教育サポートセンター

「特別支援教育サポートセンターだより」をクリックしてみてください。



ここでは、サポートセンターの取組を中心に、特別支援特教育に関する様々な情報を掲載します。日々の指導や学級経営にも役立つヒント特集なども、掲載していきます。



支援について一緒に考えていきます。

新着情報 お知らせ	特別支援教育 サポートセンターだより	保護者の方	アクセス
主な事業	資料等 (特別支援学級担任ガイドブック)	園・学校関係者	サイトマップ



「資料集等」をクリックしてみてください。

ここでは、学校支援課で編集した資料、総合教育センターから紹介したい優れた実践例などを掲載します。

現在掲載しているのは、「平成21年度版 特別支援学級担任ガイドブック」の一部ですが、今後も内容を追加・更新し、ホームページ上でガイドブックの改訂を継続します。市内の特別支援学級、市立東特別支援学校と市立西特別支援学校の手作り教材・教具なども、写真入りで掲載・更新していきます。

注1：市立東特別支援学校・平成22年4月1日に市立養護学校が名称変更。

注2：市立西特別支援学校・平成22年4月1日に開校。